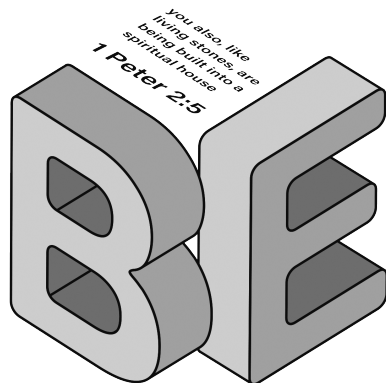


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/9/8(月)

詩篇82篇

●1節の「神」は天の神様、「神々」は世のさばき人（王様や各国の首脳達）のことだよ。著者アサフは、彼らをどのように見ているだろう。（2、5）

●アサフは、神様に何を願っているだろう。（8）

★社会や学校の中で理不尽だなあと思ったことはあるかな？神様は、あなたの祈りを聞き、正しく裁かれる方です。その出来事と感じた気持ちや想いを神様に祈ろう。

2025/9/9(火)

伝道者の書1章

●「伝道者」が空しさを感じているのはなぜだろう。君が空しさを感じる時はどんなときだろうか？

●「日の下」という言葉が何回か出てくるね。これは単にこの地上の営みということではなく、神様を考えることなく生きるならということだよ。神様に目を向けられないために感じる空しさを経験したことはあるだろうか。

●もし君の中に大きな疑問があるなら、大切な問いとして向き合ってみよう。そして一人で悩むところから方向を変えて、自分の心を神様に向けていこう。

2025/9/10(水)

伝道者の書2章

●伝道者は、快楽が空しいことを感じつつも、快楽に人生の意味や喜びを見出そうとした。求めたその先に伝道者が見出したものは何だっただろう？

●知恵ある者も愚かな者も、同じ結末を迎える。この地上で得た物は死後何も持って行くことはできない。自らの存在も忘れ去られてしまう。この伝道者の嘆きや空しさに共感するところはあるだろうか。

●25節を読もう。神から離れて歩む生き方と、神と共に歩む生き方について考えてみよう。

2025/9/11(木)

伝道者の書3章

●神のなさることは？11節

●伝道者はどんなことをしたかな？12～13節

●人は何と変わらないと言っているかな？18節

この箇所は、すべての事に神様の時がある事、神様から永遠が与えられている事(11節)を教えてくれているね。また、正義のさばきの場での不正から、自分勝手に生きることは獣変わらないとも言っているんだ。神様のなさることは美しいけれど、神様の時の中で苦しみや、試練にあうこともあるよ。その中でも神様からもらった永遠を信じることができるように祈ろう！

2025/9/12(金)

伝道者の書4章

9-12vを読もう。伝道者の書は一貫して神様なしで歩む人生がいかに虚しいかを語っているよ。

●「一人より二人がまさっている」と書いているけど、どうしてそう言えるのかな？9-11vから見つけてみよう。

●そのことを12vでは撚り糸の例えで言っているね。三つ撚りの糸ってあって、3本目の糸が登場する。3つ目の糸って誰を意味していると思う？

●仲間が存在はとても心強いよね。良い友を得ることは大切だし、関係を続けるにはきみ自身の努力が不可欠だ。そして同時に3つ目の糸である神様が大切なんだ。神様が真ん中にあるような関係作りを意識しよう。

2025/9/13(土)

伝道者の書5章

今日の箇所では神様の前にどんな気持ちで出るか、そして神様を知らない人がたくさんいる社会をどう見て、どう過ごすかの励ましが書かれているよ。

礼拝に行く時、祈る時、学校や家にいるとき、友だちと過ごすとき、私たちの心は何を大切にしているかな？

神様の声を聞く気持ちを持つこと、イエス様を知らない人たちのために祈ること、神様から与えられた仕事ややるべきことを誠実にしていくこと…いろいろなアドバイスを見つけてみよう！その中で今日できることを一つ考えてやってみよう！

2025/9/13(土)

伝道者の書6章

私たちは、毎日の歩みの中で、多くを求めたり、他と比べたりしてしまう者です。ですが、それはむなしいことだと、書かれています。そんな、私たちの人生の答えはどこにあるでしょうか。

12節には、「だれが知るだろうか」「だれが人に告げることができようか」と書かれています。著者はその答えが、神様にあること、神のことはあることを知っていました。

私たちが毎日開くことのできる聖書に、私たちが求めているものがあります。聖書を通して、神様が私たちに語りたいことは何か、私たちが求めているものが何か聞いてみよう。